

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2単位	必修
担当教員			
西村 伊知恵			

講義概要	認知症を取り巻く歴史的背景や施設、認知症者の現状を把握し、認知症の主症状が要因となつての機能変化、日常生活への影響について理解する。また、利用者に対し的確なケア提供の知識、その家族へのサポート体制の取り組み方法について習得する。
授業計画	<p>1 認知症の人の理解 ・認知症の人に対する基礎知識の確認</p> <p>2 認知症の人の体験を理解する ・本人本位、認知症の人が感じていること、認知症の人の視点で介護を見直す</p> <p>3 環境の力 ・パーソンセンタードケア、生活</p> <p>4 生活を続ける ・認知症になつても、リロケーションダメージ</p> <p>5 若年性認知症の人の生活の理解と支援 ・若年性認知症の人を理解する</p> <p>6 認知症の人に対する介護Ⅰ ・かかわりの基本（1）</p> <p>7 認知症の人に対する介護Ⅱ ・かかわりの基本（2）</p> <p>8 認知症の人への気づき ・おかしいなと思ったら</p> <p>9 家族の力を活かすⅠ 家族へのケア（1） ～認知症の人と家族の会～</p> <p>10 家族の力を活かすⅡ 家族へのケア（2） ～認知症の人と家族の会～</p> <p>11 認知症の人に対する介護Ⅲ ・認知症の人の介護過程</p> <p>12 認知症の人に対する介護Ⅳ ・進行に応じた介護</p> <p>13 地域の力を活かす ・地域の連携、チームアプローチ</p> <p>14 認知症に関する制度・関係機関などⅠ ・介護保険制度</p> <p>15 認知症に関する制度・関係機関などⅡ ・その他の施策、まとめ</p>
授業形態	講義・演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①認知症の症状を理解し、そうした症状がもたらす心理的影響について理解する。</p> <p>②認知症高齢者の心理的理解を深める心理的理論について理解する。</p> <p>③認知症症状を示す人への対応や関わり方を、理論に基づき考察できる。</p> <p>④認知症の方の家族の方との協力体制や、地域サポート体制など適切な援助方法を習得する。</p> <p>⑤認知症の社会環境や生活環境について理解する。</p>
教科書・参考書	・テキスト：介護福祉士養成講座編集委員会「新・介護福祉士養成講座 12 『認知症の理解』第3版」中央法規出版、その他、配布資料。
履修条件	
履修上の注意	「認知症の理解A」をふまえて受講すること。
オフィスアワー	授業終了後
備考・メッセージ	【準備学習（自主学習）】次回の授業の範囲を予習し、事例に基づいて考えておくこと。「もし自分自身が認知症になってしまったら、どうして欲しいか？」を常に考えて課題に臨むこと。